

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ ジョイコン NEWS ♪

第 17号 2016年4月16日

熊本地震で被災された方々にお見舞い申し上げます。

今年の桜前線は、11日に盛岡を通過し順調に北上を続けているそうです。

一方で、福島第1原発事故で全町避難が続く福島県富岡町では約2.2キロの「桜のトンネル」が満開になっているのに、ほとんど人影はないそうです。安心して花見ができるのは、この先何年後になるのでしょうか…。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」(第17号)をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第21回コンサート
- 【2】 今後の予定(先取り情報)
 - ◆ 第22回コンサート
 - ◆ 第23回コンサート
- 【3】 合わせるのが難しい木管五重奏!
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■ 第21回コンサート ■■

- ◇ 2016年5月15日(日曜日) 14:00開演(13:30受付開始)
- ◇ 出演: 黒田聰(フルート)、中山正瑠(オーボエ)、安田健太(ホルン)、早川邦宏(ファゴット)、中里真也(クラリネット)
- ◇ プログラム(予定)
 - ◆ ヨハン・シュトラウス2世: トリッチ・トラッチ・ポルカ
 - ◆ ヨハン・シュトラウス2世: エジプト行進曲
 - ◆ ハイドン: 「ディヴェルティメント」より
 - ◆ 名作アニメクインテット~ジブリより
 - ◆ ダンツィ: 木管五重奏曲 ト短調
 - ◆ プリンツ: 「楽興の時」~熱烈なる音楽愛好家の回想 他
- ◇ 料金: 大人・高校生 2,000円、中学生以下 1,000円
- ◇ 会場: 大倉山記念館ホール

第21回ジョイフルコンサートは『木管五重奏の世界~5種類の楽器による不思議なアンサンブル』と題して、お届けします。

演奏者からメッセージが届いています。

木管五重奏の知られざる不思議

生で聴く機会の少ない木管5重奏。

弦楽5重奏や金管5重奏などに比べて、なぜ演奏されにくいのか、

木管5重奏なのになぜホルンがいるのか等々。

意外と知らない木管5重奏の魅力を、スタンダードな曲から珍しい曲まで取り上げて、トークとともにたっぷりご紹介したいと思います。

今回は大倉山ジョイフルコンサート第5回目に演奏して下さったオーボエの中山正瑠さんが前回とは違う編成の木管五重奏で演奏して下さいます。

正直私には全く未知の楽器です。木でできているから木管楽器で、金属でできているから金管楽器だと思っていました。

フルートもサクソもどう見ても金属でできているのに木管楽器なのは どうしてでしょう？

一生懸命 You Tube で演奏を聴きましたが、木管、金管の違いがまったくわかりませんでした。その点のんさんが説明して下さると思います。

プログラム第1部はヨハン・シュトラウス2世の作品もあり、ジブリもあり皆様にお馴染みの曲、第2部は木管五重奏の魅力を十分満喫できるものだと思います。どうぞお楽しみになさってください。

☆ヨハン・シュトラウス2世

毎年元旦に行われる「ウィーンフィルニューイヤーコンサート」を楽しみにしている方も多いと思います。

このコンサートでは彼を中心にするシュトラウスファミリーの曲がメインに演奏されます。最後に演奏される「ラデツキー行進曲」は父親のヨハン・シュトラウス1世の曲です。

父のヨハン・シュトラウス1世は子供達が音楽家を志すことを好まなかったそうです。職業として不安定だと考えていたことが理由です。

更に全ての部分で厳格で少年時代はつらい思い出しかなかったそうです。

唯一教養としてピアノを習うことだけは認められていましたが、父親との関係は恵まれていたとは言えませんでした。その後ヨハン・シュトラウス1世は愛人を作り、家族の元を去ってしまいます。

そんな夫を見返すために母が彼を支援したそうです。

独学で学んだ父親とは反対にヨハン・シュトラウス2世は和声の基礎をしっかりと身に付けて準備をし、ヴァイオリンを弾きながら指揮をする父親と同じスタイルで音楽家デビューをします。

その間も息子を脅威と思う父親はマスコミを使うなどあの手この手で妨害工作をしたそうです。ヨハン・シュトラウス1世の死まで2人はライバル作曲家となっています。

☆トリッチ・トラッチ・ポルカ

ウィーンで当時著名人の噂を掲載した雑誌「トリッチ・トラッシュ」を揶揄したものです。当時彼自身もスキャンダルの中にいました。ロシアでのコンサートの際、ある女性を熱烈に慕うのですが、彼女の両親に反対され成就できませんでした。

そのことがウィーンで大変な話題になっていたそうです。

それを自分の曲作りに生かすというのはかなりしたたかなのではないのでしょうか。とても軽快で運動会やウィーンフィルニューイヤーコンサートでもよく演奏されている曲です。

☆エジプト行進曲

スエズ運河開通祝典が行われたのを記念してカイロ歌劇場のこけら落としにいろいろな作曲家が曲を作っています。

ヴェルディの「アイーダ」、サン＝サーズの「東洋と西洋」等。

このようにヨーロッパの人々が東洋への興味を掻き立てられた空気の中で書かれた曲です。

ウィンナーワルツとは一味違って不思議な曲です。エスニックな雰囲気とはこういうことなのかと思わせる曲です。

今回も音楽で様々な国に旅行できそうです。

どうぞお楽しみになさってください。(A.N)

■予約申し込みはこちら

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第22回コンサート■■

◇2016年7月17日（日曜日）
◇出演：塚越慎子（マリンバ）、石黒唯久（ピアノ）

ジョイコン初のマリンバとピアノによるコンサートです。

◆予約受付開始日：2016年5月16日（月曜日）

■■第23回コンサート■■

◇2016年9月18日（日曜日）
◇出演：大川信之（テノール）

【3】合わせるのが難しい木管五重奏！

木管五重奏は「室内楽」に分類されます。
小さな部屋の中で演奏し、それを囲んで聴くという演奏と鑑賞のスタイルを「室内楽」といいます。
バロック時代に貴族の館で始められ、古典派やロマン派の時代に大流行しました。演奏者同士の息遣いが伝わる程度の距離で聴くという家庭的な雰囲気重点がおかれ、これは時代が進んだ今でも室内楽の根本的な考え方として残っています。

「重奏」とは各楽器をひとりの奏者が担当して、何人かの人と一緒に演奏することです。二重奏（デュオ）、三重奏（トリオ）、四重奏（カルテット）、五重奏（クインテット）・・・そして十重奏（デクテット）までと決められています。十重奏までなのは、それ以上の人数になると演奏がまとまらないからだそうです。

木管五重奏はフルート・オーボエ・クラリネット・ファゴットの4種類の木管楽器に金管楽器のホルンを加えた5本の管楽器による編成です。
木管五重奏が他の管楽器や弦楽器の室内楽編成と違う点は、5本の楽器の振動体が違うということです。木管楽器（まっすぐな木製の管に息を吹き込み音を出す「笛」の仲間。ただし、今はフルートの材質はほとんどが金属製、サクソフォンはすべて金属製）は吹く部分にリードという薄い板をつけ、このリードで空気を振動させて音を出します。
オーボエとファゴットはダブルリードですが、クラリネットはシングルリード、フルートはエアリード（唇で空気のリードを作る）で音を出します。
ホルンは金管楽器（金属の管を巻いて、そこに息を吹き込み音を出す「ラッパ」の仲間）なのでリードを使わず自分の唇を振動させて音を出します。
楽器が違うので音色もすべて違い、それぞれの楽器の音階のクセも違うので、合わせるのに努力が必要ですが、それぞれの音色がかき消されずに聞こえるのが長所です。

管楽器のアンサンブルが盛んだった古典派音楽の時代、ホルンは常に木管楽器と一緒に演奏されていました。それは金管楽器の仲間でもトランペットは宮廷や軍人のための高貴な楽器、トロンボーンは教会で演奏される神聖な楽器というイメージがあったのに対して、ホルンは民衆に身近な楽器だったからです。実際にホルンは昔、ポストホルンと呼ばれ郵便屋さんが手紙を届けたことを知らせるために吹いた楽器で、一般の人々の暮らしに溶け込んでいました。今でもヨーロッパでは郵便局を表すマークはホルンの絵となっています。

ちなみにファゴットですが、この名前はイタリア語で「薪の束」を意味しています。その名前の通り長い管を2本たばねたような形をしています。ファゴットには2つの呼び方があり、イタリア語とドイツ語では「ファゴット」、

英語では「バスーン」です。

「バスーン」はもともとフランス語の「バスソン（低い音）」という言葉が変化したものだといわれています。（のん）

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（3月20日公演）、
『鈴木大介 バッハを奏でる～ギターの名器によって優雅に奏でられる舞曲たち』
は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「良かった」「大変良かった」の合計が78%で、
今回も高い評価でした。

自由記入欄（ご感想など）には、
『クラシックギターを生で聴く機会はめったになくて、今コンサートはとても良い
機会に恵まれました。静かに奏でるギターの音色に至福の時を過ごせました』
『名器の細かい説明がなかったのが残念でした。右手の位置で音色が変化するの
が楽しくて！ギター大好きです』『初めてバッハの曲のギター演奏とても心地良く
満喫しました。とても技術的に高度なので驚きました』『建物とギターがあっ
てとてもよかったです。埼玉からは遠いのですが、是非また足を運びたいです』
など数多くのメッセージが寄せられました。

「ジョイコン」では、アンケートで頂いた“今後のご希望”なども参考にして、
できるだけ初登場の楽器や演奏者を紹介し、演奏者とお客様を繋ぐ“架け橋”に
なれるよう努めてまいります。

【編集後記】

先日、地元の「筍掘り」の行事に参加し、久しぶりに筍ご飯を味わいました。
筍は春の味覚を代表する食材ですが、俳句の世界では夏の季語になるそうです。

「筍掘り」は5月連休ごろまで楽しむことができ、ここ横浜では体験ができる
公園もあるそうです。（お）

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み
次回予約申し込みはこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>
予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー
メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更
メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら
info@ohkurayama-joycon.com

.....
発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会
Eメール info@ohkurayama-joycon.com
携帯電話 080-8424-5108
URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
.....